

## 平成29年度第2回亀岡市文化財保護委員会 会議録要旨

1 日時 平成29年11月13日(月)午後1時30分～午後4時00分

2 場所 亀岡市役所 302・303会議室

### 3 出席委員

安藤 信策	委員
井本 伸廣	委員
加藤 美智恵	委員
嵯峨根 彰	委員
永光 寛	委員
長谷川 澄夫	委員
山下 ひろ子	委員
鵜島 三壽	委員
豊田 知八	委員

### 4 欠席委員

川端 秀昭	委員
深町 加津枝	委員
藤井 健三	委員

### 5 出席事務局職員

土井	社会教育課文化財係長
中澤	社会教育課文化財係主任
飛鳥井	社会教育課文化財係主事
渡部	社会教育課文化財係主事

### 6 傍聴者 なし

### 7 議事の概要

#### (1) 開会

#### (2) 議事

- ① 亀岡市文化財行政事業報告
- ② 亀岡市指定文化財 指定基準(修正版)報告
- ③ 亀岡市内文化財 現況報告について
- ④ 京都府暫定登録文化財について

⑤平成29年度亀岡市指定文化財について

①事務局より7月～10月の事業報告について説明した。

●委員から質問・意見は特になかった。

②事務局より、亀岡市指定文化財 指定基準修正版について説明した。

●委員から質問・意見は特になかった。

③事務局より、スライドを用いて亀岡市内文化財の現況報告について説明した。

●説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

○委員

ほかの市町で、研究者のサンプリングによって地層が破壊される事例が問題となった。  
研究による破壊も起こる可能性がある。

○委員

市の象徴となった桜石についてはどのような保護施策をとるのか。

○事務局

指定範囲については柵が老朽化しているので、修理する予定である。

○委員

桜石の指定範囲以外で一般の方が採取したとしても盗掘とはみなせない。柵で囲うだけでなく、文化財保護の普及啓発を行うなども必要であろう。

○委員

文化財の荒廃等について、原因を分類して把握してほしい。

④事務局より、これまでに登録された京都府暫定登録文化財について説明した。

●説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

○委員

新聞での発表をみて、亀岡市内にはこれほど多くの歴史的価値のある文化財があることに驚いた。さまざまな機会を生かして、こうした文化財の存在を広報していくべきである。

⑤事務局より、26期中に亀岡市指定文化財の候補として亀山城惣構跡を考えていることと、事務局の考える亀岡市指定文化財の方向性について説明した。

●説明を受け、委員から次の質問・意見があった。

○委員

京都府の暫定登録文化財は、一定の価値づけがなされるというものであり、亀岡市指定文化財とは性格の異なるものである。

○委員

亀岡市指定文化財として、古文書の数が少ないのはさみしい気がする。

○委員

一連の遺構については、すべて亀岡市指定文化財として指定されている方が確かにわかりやすい。

○委員

惣構跡を指定するのであれば、ほかにも候補とすべき場所はあるのではないか。

○事務局

ご指摘の通りであるが、地権者の整理や遺構の残存状況を勘案し、優先順位をつけて指定を進めていきたいと考えている。

○委員

亀山城跡の惣構は、城下町に連続して存在していることに意味がある。部分ごとで指定するのも良いが、城下町全体を文化財として評価すべきである。

○委員

亀岡市指定文化財と京都府暫定登録文化財については、重複を避けるか否かについてはケースバイケースであり、具体的事案に則して判断すべきであろう。

○委員

惣構跡については、文化財指定に際して測量はすべきである。また考古学が専攻の委員からも意見を聞きながら調査を進めてほしい。

(3) その他

今後は、文化財保護委員会開催にあたりホームページ上で事前通知することで委員より承認を得た。

(4) 閉会

以上